

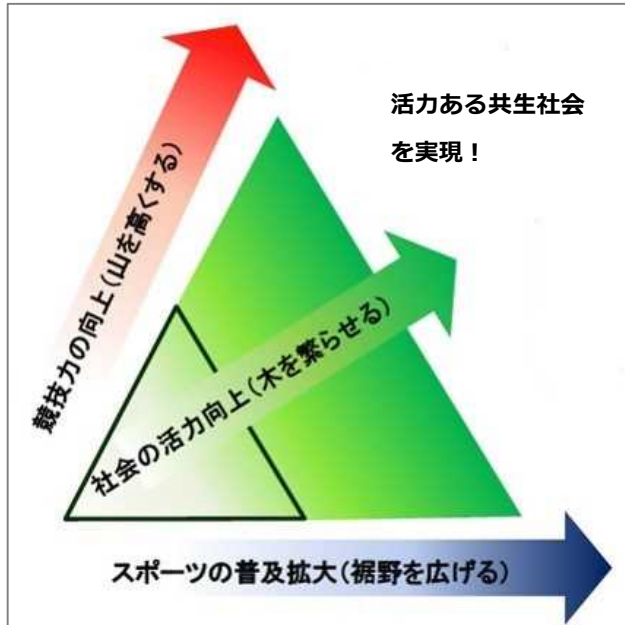
平成29年4月18日(火)

スポーツ基本計画の着実な実施に向けた関係団体協議会

(公財)日本障がい者スポーツ協会 配布資料

## スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現 (スポーツを通じた共生社会等の実現)

(公財)日本障がい者スポーツ協会  
障がい者スポーツの将来像(ビジョン)  
(2013年3月策定)



### 障がい者スポーツの理念 「活力ある共生社会の創造」

- 1.一人ひとりの個性を尊重する(障がいも個性の一つ)
- 2.スポーツの価値はすべての人に共通する
- 3.すべての障がい者がスポーツの価値を享受できる
- 4.スポーツを通じて障がい者の社会参加を広げる
- 5.障がい者スポーツの発展により活力ある社会を創造する
- 6.スポーツ施策を一元的に推進する社会をめざす

第二期スポーツ基本計画における定量目標 (障がい者スポーツ関連)	第二期スポーツ基本計画の具体的施策と 当協会の主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者のスポーツ実施率の向上 (成人 19.2%→40%, 7-19歳 31.5%→50%)</li> <li>・総合型地域SCへの障がい者の参加促進 (40%→50%)</li> <li>・障がい者スポーツ指導者養成の拡充 (2.2万人→3.0万人)</li> <li>・活躍の場が無い障がい者スポーツ指導者の割合を半減 (13.7%→7%)</li> <li>・障がい者スポーツの直接観戦経験者を増加 (4.7%→20%)</li> <li>・スポーツ仲裁自動応諾条項の採択等により、スポーツ団体における紛争解決の仕組みの整備促進 (45%→100%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者と健常者が一緒に楽しめるプログラムの開発 →今年度より日本レク協との定期的な会合を開催、今年度中に具体的な方策を取り纏める予定。</li> <li>・統合型地域スポーツクラブ(SC)への障がい者の参加促進 →統合型地域SCが障がい者スポーツを導入するためのガイドブック(H26日体協、日レク協、当協会で作成)の普及に努める。併せて、日体協クラブネットワークアクション事業での連携により、障がい者スポーツの更なる理解に努める。</li> <li>・障がい者スポーツ指導者の拡充 →指導者養成事業の対象を広げる(日体協指導者資格者、理学療法士)とともに、学校教職員を視野に入れた指導者養成制度の見直しによる拡充を図り、年間2千名の増加を目指す。</li> <li>・特別支援学校への障がい者スポーツ指導者の派遣(活動の場) →特支校、教育委員会、地域の障がい者スポーツ協会、指導者協議会との連携を図る予定。</li> <li>・障がい者スポーツに関する理解促進 →メディアへの働きかけ、学校体験会などの機会提供、パートナー企業(29社)との活動共有によりファンの拡大を図る。</li> <li>・障がい者スポーツ団体の基盤強化 →各種研修会の開催(法人各取得、団体運営と会計業務の基礎等)、コンプライアンス体制整備支援の実施。</li> </ul>